

第3次総合計画第4期基本計画第4回総合計画審議会議事録

日 時：平成27年10月7日（水） 14:30～16:20

場 所：東金市役所3階第1委員会室

出席者：委員（別添参照）…15名

総務部長、市民福祉部長、建設経済部長、議会事務局長、会計管理者、教育部技監、総務課副課長、財政課長、特命プロジェクト担当主幹、特命プロジェクト担当主査補、昭和株式会社、企画政策部長、企画政策部参事、企画課長、企画課副課長、企画係長、企画課主査補、企画課副主査、企画課主事補

※ 審議会で提示した資料については非公開とする。

1 開会

（司会 企画課長）

2 会長あいさつ

[会長] 前回までの3回の審議会では、人口ビジョン及び総合戦略について審議してきた。その結果、9月17日（木）に答申を出すことができた。委員のご協力に感謝を申し上げる。

今回の審議会からは、第4期基本計画について審議していく。20年計画である第3次総合計画の、最後の5年間についての計画を策定していくこととなる。

今回の審議会では第3期基本計画を振り返り、次回審議会にかけて第4期基本計画についての審議に入っていく。

3 報告事項 東金市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略の策定について

[企画課長] 議題に入る前に「東金市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」の策定について、事務局から報告をする。

（企画課副課長…東金市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略策定までの経緯を説明。

委員には、8月27日（木）に行われた第3回審議会において人口ビジョン及び総合戦略について合意をいただき、答申として整理するためのご意見を賜った。9月17日（木）には、市長に答申を提出した。また、市議会最終日の9月18日（金）には、全員協議会において市議会議員の皆様へ人口ビジョン及び総合戦略の案を示し、説明を行った。こうした過程を経て、9月25日（金）に策定完了となった。これは、県内で最も早い策定である。

頂いた意見を反映させた結果、「大学との連携」という表記を「大学等教育機関との連携」へ変更した。また、「短期事業」と「中・長期で検討する事業」の精査を行った。さらに、人口ビジョンのグラフの改善等を行った。

今後は、総合戦略を具現化するための行程に移っていく。総合戦略に掲載されている事業には、年次計画や財政的な担保がない事業も含まれている。今後の下半期で総合戦略の方向性を反映させた第4期基本計画を策定し、実施計画のレベルに落とし込んでいく。）

4 議題

[企画課長] 議題の進行については、東金市総合計画審議会条例第5条第1項の規定により会長に議長をお願いしたい。

(会長…了解)

○(1) 第3次総合計画について

[会長] 議題(1)第3次総合計画について説明を求める。

(企画係長…資料①により、第3次総合計画の概要について説明。

総合計画とは、「東金市を将来どのようなまちにしていけるか。そのために何をしていけるか。」を体系的にまとめたものである。これは、東金市の全ての計画の基になるものである。現行の第3次総合計画は平成12年度に策定され、平成13年から平成32年までの20年計画である。

総合計画は「基本構想」と「基本計画」から成立している。基本構想とは、まちづくりの基本理念や目指すべき将来像を明らかにしたもので、行政運営の指針となる。基本構想は、地方自治地方によって議会の議決用件とされていたが、平成23年の改正により策定義務はなくなっている。

一方の基本計画は、基本構想を受け、目指すべき将来像に近づくための施策の体系を示すものである。第3次総合計画期間中の20年を5ヵ年ずつ4期に分けており、平成28年度から平成32年度までの5年間は、今回策定する第4期基本計画の期間に該当する。

当市のまちづくりの基本理念は、「豊かさの創造と継承」である。また、当市は「人・自然 とときめき交感都市 東金」を目指すべき将来像としている。まちづくりの基本的な方針として、「こころ豊かなまちづくり」「ぬくもりのあるまちづくり」「うるおいのあるまちづくり」「活力のあるまちづくり」「安全で快適なまちづくり」の5つを挙げている。

基本計画は総論と各論により構成されている。総論では、人口推計や財政推計などから政策課題を抽出し、総合的な視点からまちづくりを論じるものである。一方の各論は、施策分野別の事業展開を示すものである。各論は、5つの基本方針に「計画の実現に向けて」という項目を加えた6章30施策で構成されている。

前回までの審議会で審議を行ってきた総合戦略は、総合計画に内包される。総合戦略には、財政的な担保がない事業も含まれている。一方、基本計画は財政的なフレームに当てはめて策定していく。次回の審議会では、財政フレームに当てはめる事業について説明したいと考えている。

(意見・質問)

[委員] 行政には、集中と選択が重要である。第3次総合計画を始めとする各計画と、集中と選択の兼ね合いについてどう考えているのか。

[企画係長] これから策定に入る第4期基本計画はもちろんのこと、第3期基本計画などの計画や今までの行政についても、集中と選択を行ってきたつもりである。

[委員] 第4期基本計画において、どこに集中と選択を行うのか、この先示していただきたい。

[会長] 総合計画は網羅的に事業を記載する必要があり、「選択と集中」に関しては、事業の実施計画等で考慮していきたいと考える。この審議会においても、委員の皆様からの意見を伺いたい。

第3次総合計画の今までを振り返ると、「計画の実現に向けて」という章が大きなポイントになっているように思う。市民参画による行政の展開や広域行政の推進、情報化への対応などは、時代を先取りして計画に盛り込むことができたと考えている。これらの施策の現状については、次の議題で審議していく。

○(2) 第3期基本計画の総括及び実績について

[会長] 議題(2)第3期基本計画の総括及び実績について説明を求める。

(企画係長…資料②及び③により説明を行う。)

第3期基本計画では、人口について平成22年度にコーホート変換法による推計を行っている。実績値は若干推計値よりも高いという結果となった。自然動態は平成15年度から減少に転じている。社会動態についてはまちまちだが、年間1000人近い社会増があった頃と比べると、転入者は減少していると言える。

第3期基本計画は、計画の実効性を高めるために「目標設定と目標管理ができる計画」としている。目標管理については、従来隔年で実施していた市民アンケートを毎年度実施することで達成度を観測している。また、未達成の原因と改善策を打ち出せるようアンケート結果報告書を作成し、ホームページに掲載してきた。そして、次期実施計画等へのアクションとして繋がるよう「事業計画方針」を庁内に発布している。

第3期基本計画の市長目標は、6項目中5項目が未達成という結果になっている。部長目標については、「家庭ごみ・リサイクル」「広域行政」「生涯学習・生涯スポーツの振興」等の施策で高い満足度を得ている。一方、「公共交通の充実」「工業振興」「道路網の整備」等の項目の満足度は、計画期間中の5年間を通して低かった。課長目標は、86項目を設定している。結果として42項目が達成見込みであり、40項目が未達成、事業廃止等の関係で測定不能なものが4項目となった。

第3期基本計画では、各論の30施策ごとに「今後の展開」という項目を設定している。これは、計画期間中の5年間に推進すべき施策の方向性を示したものである。そして、PDCAサイクルを回すため、「今後の展開 (Plan)」「事業実績 (Do)」「積み残し・課題 (Check)」「第4期への展望 (Action)」を設定している。

(意見・質問)

[委員] 全体的に見て第3期総合計画はどうだったのかという説明がなければ、第4期基本計画が見えてこない。第3期基本計画の総論についての総括をしていただきたい。

[会長] 基本計画の総論は、市が取り組む個々の施策についての計画であり、委員がおっしゃる総論は20年の基本構想のように思う。

[委員] 20年の総合計画における第3期基本計画の位置づけを明らかにすることは重要であると思う。第4期基本計画の位置づけを定めるためにも、第3期基本計画の評価が必要である。

[会長] では、第3期基本計画の全体的な評価について事務局からの説明を求める。

(企画係長…資料④により説明。)

基本計画には、基本的方向性を定めている。その基本的方向性に対するアンサーが、基本計画の評価になる。第1期基本計画は、基本構想の実現を図るため、基本的な施策や事業を体系化すると共に、「心の交流」「暮らしの安全」「自然との共生」「都市の活力」という4つのリーディングプランを設定。その結果、東金アリーナやふれあいセンターのオープンなど、人口増に向けた基盤整備を進めることができた。しかし、景気低迷及び収入減を理由とした財政状況の悪化や、周辺市町との合併協議の破綻に柔軟対応できなかった。

第2期基本計画は、第1期を踏まえ行財政の建て直し期間と位置づけ、行財政リフレッシュプランと並行し行財政改革を進めた。同時に、市民との協働モデルの推進、安心安全子育て支援、産業振興といった分野で連携を重視した重点事業を設定した。その結果、財政破綻を回避し、将来に向けた財

源を確保することができた。その一方で、コストや効率化による事業の先送りが見受けられた。

第3期基本計画では、人口減少、少子高齢化、景気低迷を乗り越えるための魅力と活力あるまちづくりを進めた。将来に向けての産業振興、観光、医療、市民協働といった事業の立ち上げや財政推計に基づく計画全体の設定、階層ごとの目標設定と満足度による目標管理を基本的方向性と定めた。結果としては、第2期基本計画において事業が先送りされた影響で、新規事業立案の萎縮や硬直が見られた。一方で、東千葉メディカルセンターやみのりの郷東金のオープン、公共交通の新たな取り組み、市民協働の立ち上げといった、将来に向けての種まきを行うことができた。また、毎年度の市民アンケートにより目標の進行管理を行い、実効性を確保した。）

(意見・質問)

[会長] 意見や質問等を、委員一人ひとりから伺いたい。

[委員] 「第1期基本計画は財政状況に合っておらず、第2期基本計画で財政を引き締めた。その結果、第3期基本計画では新規事業への取り組みが弱かった。」という総括をしていただいたが、現状では金余りの状態になっている。私見では、第3期基本計画は小さくなりすぎて人口増のための施策を打ち出すことができなかつたと考えている。こうした点を踏まえ、第4期基本計画では何に投資するのかを考えていく必要がある。第3期基本計画で投資した東千葉メディカルセンターでは、1年が経過した時点で20億を超える負債が発生している。このような事例があるので、今までの反省を生かしながら、第4期基本計画策定に向けしっかりと考えていきたい。

[委員] 東千葉メディカルセンター、みのりの郷東金、デマンドタクシーなど第3期基本計画で蒔いた種を育てることが重要である。財政的な面も含めて、これらの点に集中して計画を立てることが必要だと考える。また、市民アンケートの結果をみると安全面についての満足度が低くなっているため、この点についてもしっかりと計画を練って行くべきだと考える。

[委員] 東千葉メディカルセンター、みのりの郷東金、デマンドタクシー、市民協働といった事業をスタートしたは良いが、どれも赤字になっている。事業を実施するには、財政的な面をもっと厳しく固める必要があるのではないかと。予算は市民の税金から捻出されているのだから、悪い点を改善し、事業を進め方をよく考えていかなければならない。また、今後5年間の歳入及び歳出を見込み、予算を振り分けていく過程をもっと表に出していくべきだと考える。

[委員] 東金市のために、まず自分たちに何ができるのかを考えていきたいと思っている。また、産学民がまちづくりに参加できる仕組み・戦略を取り入れていただきたい。

[委員] 資料③10ページ1番最後の事業に関して「雄蛇ヶ池・八鶴湖」という表記があるが、「周辺」を付け足していただきたい。

[委員] 人口減少に対して、やはり産婦人科が無いことが大きな要因の一つだと思う。また、高齢化の問題は今後さらに深刻化するので、しっかり対策をして欲しい。住民の協力を図るといっても、中々実行するのは難しい。民間企業の活用などもあるが、仕組みをつくるのが大切である。

東千葉メディカルセンターは、医師の移動が多い。信頼していた先生に一貫して診てもらえないことは、マイナスポイントである。また「東千葉メディカルセンターは紹介がないと診療してもらえない」と聞いて、市民が利用しないという現状がある。こういった点の広報を改善していく必要がある。

[委員] 産婦人科が市内に無いのは不安である。東千葉メディカルセンターは、人員不足が問題だと聞いている。市民が求める医療を市民のために提供する病院になって欲しいと思う。

[委員] 資料③において施策分野別計画の実績が示されているが、第3期基本計画のメインの事業がどれなのかが分かり辛い。また、第3期基本計画で目標を達成できなかった事業について、潤沢な予

算があるわけでもないのに、なぜ第4期でも継続するのかという理由を知りたい。

[委員] 市内に産婦人科が無いのは問題だと思う。東千葉メディカルセンターに産婦人科を設置していただきたい。また、デマンドタクシーは日曜祝日に運行していない。循環バスも限られているので、日曜祝日の交通対策を行っていただきたい。

[委員] 市の情報発信が不十分である。SNSが情報発信ツールとして十分に機能していない。

[委員] 第1期から第3期基本計画までの間で公共施設は多く建ったが、活性化がなされていない。第4期基本計画に向けて、その点を改善する必要があると考える。また、広報の仕方を見直していただきたい。SNSやHPは若者向けの情報発信である。幅広い年代に対する情報発信を行って欲しい。観光農園の活性化や米のPRなども、第4期基本計画に向けて考えていただきたい。

[委員] 人を呼び込むためには、まず、今住んでいる人の満足度を上げることが大切であると思う。次に、東金市の良いところを効果的に広報していくことが大事だと思う。市内には病後児保育で良い施設がある。こうした施設の存在をPRしていくことが大切である。

[委員] みのりの郷東金については、オープンから1年が経ち、1年目は赤字であったが、現在出荷者は増えている状況である。現状では、出荷者の商品は毎日ほぼ売り切れている。1年間通して不足する作物を公表し、それらの出荷者を募るなど工夫を行っている。また、家庭菜園で出来た作物を出荷している出荷者に対し野菜の栽培講習会等を開催し、出荷者全体のレベルを上げる施策も必要であると考えている。

[委員] 銀行全体としても、地方創生には力を入れている。地元金融機関として、企業誘致に向けた情報共有を行っていきたくと考えている。また、東金市の預託融資制度は是非今後も継続していただきたい。しかし、第3期基本計画の積み残し課題にもなっているが、創業者の利用がほとんどない。創業者への支援が今後の大きな課題である。最後に、私見だが、東金市の財政は公債比率や地債発行額を見ても悪くない状況だと考えている。

[会長] 第3次基本構想策定時に人口の目標を7万5千人としたが、人口ビジョン等を踏まえて、目標人口の修正を行ってよいのではないか。

資料③で施策分野別計画の実績についてまとめられているが、これは行政側からの視点であり、重要なのは市民目線での評価である。例えば、市内に産婦人科が無いことについては、産婦人科がなくなることが以前からわかっていたのなら、その対策を講じていたのが評価の視点である。その視点を意識していただきたい。そうすることで、費用対効果などの新たな視点が生まれると思う。

また、東千葉メディカルセンターに対する意見が多くあったが、これらの声をそのまま東千葉メディカルセンターに届けて欲しいと思う。

10分間休憩

[会長] 委員からの質問に対する答弁を事務局に求める。

[企画課長] 第3期基本計画での新規事業萎縮等の失敗を繰り返さないよう、第4期基本計画ではしっかりと情報収集して策定に臨みたい。

安全面への対策についてだが、総合戦略の短期実施事業の中に「防犯カメラの設置等による防犯インフラの整備」等の事業を組み込んでいる。そういった事業で対応していきたいと考えている。

計画を具体化していくにあたっては、財政状況との整合をはかっていく。

第4期基本計画には「市民ができることは何か」という視点を盛り込んでいただきたいという意見があったが、そういった点も考えながら計画策定に臨みたい。

八鶴湖や山王台、雄蛇ヶ池等の維持管理については、商工会議所や観光協会と協力していきたい。

東千葉メディカルセンターの広報についてだが、月に1度の発行だった「広報とうがね」を、1月から以前のように月2回発行することで対応したい。SNS等の活用についても研究を重ねていきたい。

病後児保育についても周知していきたいと考えている。

市民からあがってきた東千葉メディカルセンターへの要望は、先方の関係部署と調整して、東千葉メディカルセンターに届くようにしたい。また、東千葉メディカルセンターの産婦人科は、医師不足のため開設が遅れているが、開設に向けての動きはある。

[会長] 委員から追加で質問等あれば発言願う。

[委員] 「広報とうがね」を月に2回発行することは無駄ではないか。紙媒体でない部分で情報を発信しなければならない。東金市のFacebookの「いいね!」はたったの4件である。市職員が約500人いるにも関わらず、この数字はどうかと思う。

[委員] 高齢者は、若い世代が思う以上にICT活用に難を感じている。そのため、紙媒体での広報も必要であると考えている。

[委員] 紙媒体の広報が必要ないとは言わないが、月2回発行するならば、費用のかからないSNS等の活用を考えた方がいいのではないかとと思う。

[委員] 「情報発信が足りないと言われたから広報の発行を増やす」というのは、安直である。もっとやり方を考えるべきである。

[委員] SNSでの情報発信は、費用が少ない上に効果が大きい。上手に使っていくべきだ。

[企画政策部長] 広報発行が月1度だと、締め切りの関係で紙面に載せる情報が2ヶ月遅れになってしまう。情報を早く伝えるため、また、情報を多く伝えるためにも月2回の発行に戻すことを考えた。

[委員] では、なぜ月1回の発行にしたのか。

[企画政策部長] 月1回の発行にするまでは、情報が2ヶ月遅れになることが予想できなかった。

[委員] なぜ月1回の発行だと情報が2ヶ月遅れになるのか。単純に発行回数を増やすのではなく、その点を改善することを考えないのか。

[委員] 新聞は昨日の出来事を記事にしている。東金市も、広報発行のサイクルを見直していけば、情報が2ヶ月遅れになることはないと思う。その点の努力をしていただきたい。

[委員] 全般的に形骸化している。前例踏襲だけでは良くないと考える。

[会長] 市民の小さな声も拾っていただきたい。また、SNSの活用については、全庁で考えるべきことだと思う。各課にSNS担当者を1人置くなど、市民との情報のやり取りを行える状況を考えていただきたい。一方で、高齢者に向けた情報発信に関しても工夫が必要である。新聞を取っていない方には「広報とうがね」は届かないのではないかと。

[企画政策部長] 新聞を取っていない世帯には、「広報とうがね」を郵送している。

○(3) 第4期基本計画の策定及び今後のスケジュールについて

[会長] 議題(3)第4期基本計画の策定及び今後のスケジュールについて事務局からの説明を求める。
(企画係長…資料④及び資料⑤により説明。)

第3次総合計画のこれまでの流れを受け、第4期基本計画では「①第3次総合計画のまとめとして」「②地方創生の流れを受けて」「③第3期で蒔いた種を育てる期間として」という3つの基本的方向性を考えている。基本的方向性の①を案としたのは、第4期基本計画が基本構想の最終計画であるためである。基本構想の理念・将来像に対するアンサーとしなければならない。基本的方向性の②を案としたのは、9月25日(金)に策定した人口ビジョン及び総合戦略が理由である。これらを受けた第4期基本計画は、東金創生の第1歩となる計画にしなければならない。また、基本的方向性の③は、第3期で蒔いた東千葉メディカルセンターやみのりの郷東金、デマンドタクシー、市民協働等の種を育て、大輪の花を咲かせたいという考えから設定した。これら3つの基本的方向性について、審議会委員の皆様にご審議いただき、了解を得た段階で策定方針を定める。

今後のスケジュールについて、第5回審議会は11月19日(木)の開催を予定している。第5回審議会の議題としては、第4期基本計画の総論にあたる施策目標の提示及び財政フレームに収めた上での分野別基本事務事業の提示を考えている。第6回審議会については、12月22日(火)の開催を予定している。第6回審議会では、ある程度の体裁を整えた上で、第4期基本計画の案を示したい。また、第6回審議会以降、12月下旬から1ヶ月程度パブリックコメントを行う予定である。12月議会では、その時の進捗状況を説明したいと考えている。そして、パブリックコメント等を踏まえた答申案審議を、1月下旬に予定している第7回審議会で行いたい。いずれの審議会も、市役所3階の第1委員会室にて14:30から行う予定である。)

(意見・質問)

[委員] 旧村単位での自治が重要であると思う。今までの東金市では、その点の議論がなされていないように感じる。第4期基本計画から地区ごとの計画を考えることで、高齢化や人口問題への対策を打つべきではないか。公共交通に関しても、各地区での需要を把握する必要がある。第4期基本計画には、地区ごとの計画を盛り込んでいただきたい。

[会長] 第4期基本計画について、事務局から3つの基本的方向性が示されている。この基本的方向性に基づいて計画を策定していくことでよろしいか。

(全委員…反対意見無し)

[会長] では、この基本的方向性をもとに基本計画策定に入る。12月の第6回審議会までには素案を作成し、パブリックコメントを行いたい。

議事の終了

4 閉会

以上